



学校だより

No.4 7月号
令和4年6月30日
横浜市立洋光台第四小学校

～ 手を取りあい ぐんぐんのびる しんめの子 ～
ホームページもご覧ください。www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yokodai4

新たな視点で発見した洋四小の魅力 ～支え合って成長～

児童支援専任 松浦 葵

今年度より児童支援専任となりました。よろしくお願いいたします。

令和4年度が始まり、早いもので四か月目を迎えました。児童支援専任という立場になり、担任をしていた時とは違う視点で洋光台第四小学校を見つめさせていただいています。今回は、児童支援専任として発見した洋四小の素敵などころを3つお伝えします。

1つ目は、朝の登校の様子です。児童の安全な登校のために、学校側の横断歩道で安全指導と見守りをしています。朝、学校に向かってくる子どもたちの表情は様々です。今日の学習や活動を楽しみにしている様子、友達と会話をしながら楽しそうな様子、中には少し眠そうな様子も見られます。最近は、気温も上がり、少し疲れている様子も見かけることがあります。そんな中でも、子どもたちは「おはようございます。」と声をかけると、挨拶を返してくれています。中には、「松浦先生、おはようございます。」と、名前を呼んで挨拶をしてくれる子もいます。私は、毎朝の子どもたちの元気な声や笑顔での挨拶から「今日も1日頑張ろう！」と、元気をもらっています。

2つ目は、異学年交流の様子です。5月に行われた全校遠足をはじめ、本校では「しんめ班」というたてわり活動を年間通じて行っています。そのほかにも、最近では、6年生と1年生と一緒に登校してくる姿がよく見られます。6年生が1年生の手を引いたり、話を聞いたりしながら登校する姿は、とても微笑ましいです。また、休み時間には、校庭で異学年の児童同士と一緒に鬼ごっこをしたり、ボール遊びをしたりしている姿も見られます。教員が設けた機会だけでなく、自発的に異学年での交流を楽しんでいる姿は、素敵です。

3つ目は、子どもたちを温かくサポートしてくださる保護者や地域の方々の存在です。毎朝、地域の方がボランティアとして子どもたちの登下校の見守りをしてくださったり、下校時に保護者の皆さまが見守り隊の活動をしてくださったりしているおかげで、子どもたちは安全に通学することができます。また、読み聞かせ隊や整え隊のボランティアの皆さまの活動により、子どもたちは読書に親しむことができます。ありがとうございます。

児童支援専任は、学級・学年を超えて、児童や保護者の方々と関わることでできる立場です。また、他の小学校、中学校やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとも連携しています。子どもたちが安心して学校生活を送ることができるように微力ではありますが、努めてまいります。気になることがありましたら、お声かけください。

1学期も残りわずかです。夏休みまでの1ヶ月、子どもたちとの関わりを大事にしながら、各学年学習のまとめに入っていきます。引き続きご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

